

令和元年度 大阪府立日根野高等学校 第 1 回学校運営協議会（記録）

1. 校長挨拶

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）4 名

協議会委員（欠席者）2 名

2) 事務局員（出席者）8 名

校長・教頭・事務長・首席（2 名）・進路指導主事・教務主任・教諭（2 名）

3. 協議

1) 協議会会長の選出

会 長 豊福 秀夫 氏

副会長 神藤 吉伸 氏 を選出

2) 30 期生進路状況および「ひねのプログラム」について（首席・進路指導主事）

3) 平成 30 年度学校経営計画及び学校評価、令和元年度学校経営計画（案）及び学校評価（案）について（校長）

報告し、承認を得た。

4) 令和 2 年度教科用図書採択について（教務主任）

令和 2 年度教科用図書採択について報告し、承認を得た。

4. 提言等

<委員> 障がいを持っている生徒に対してはどのようなケアがされているか？

→障がいを持った 3 年生の生徒には介助員を配置している。

<委員> 性的マイノリティに対する認知、対応はどうなっているか？

→人権教育として、ひねのプログラムに組み込まれている。女子はスカートではなく、ズボンの着用も可。スクールカウンセラーも LGBT に対する相談も受け付けている。今年度の高校入試より志願書には性別を記入する欄がなくなった。

<委員> 社会貢献として、どのようなことをしているか？

→ボランティア部が、年一回の通学路の清掃、大阪府の挨拶運動に参加。吹奏楽部の校外での演奏等。

<委員> アクティブラーニングは、どれほど実践、浸透しているか？

→英語、国語、数学などでは学び合いなど、ペアワーク、グループワークを取り入れている。

<委員> 子どもが配布物を見せないことがあるので、配布物の周知をしてほしい。(意見)
→配布物のお知らせ等も、メールで配信している。

<委員> こども園でもアクティブラーニングをしているので、進学先でも生かしてほしい。(意見)
小学校、中学校でも取り組みが積極的になっているので、高校でもすすめてほしい。
(意見)

<委員> 「教えない授業」をするには。教員の教育も必要。アクティブラーニングはあくまで手段であり、目的ではない。(意見)

<委員> 1年次にオープンキャンパスに行かせる取り組みが非常によかったなので、今後も継続して実施してほしい。(意見)

5 その他

○ 事務連絡